

# げんきたっ子



## 地域とともに

校長 市川 伸美

恵那北小学校は、地域とともにある学校です。子どもたちは周りの人に支えられ、今年度も一人一人が成長を実感できました。2月15日の授業参観日には学習発表会を行い、保護者や地域の方にも参観していただきました。ご多用の中参観して下さった皆様、ありがとうございました。

この日のために、各学年の子どもたちがそれぞれ話し合っ、できるようになったことや学んできたことを発表しました。1年生は、入学してからこれまでに学習して覚えた文字や計算、音読等を発表しました。2年生は一人一人が努力してできるようになったこと、3年生は初めて学んだリコーダーや英語なども披露しました。自分たちが成長した姿を堂々と発表する姿には、「自信」がみなぎっていました。「自信をつける」ことを目指してスタートした3学期、子どもたちは着々と自信をつけ次の学年の準備が始まっています。

3年生以上は、総合的な学習の時間に地域の方に教えていただいたことをまとめて、聞いてくださる人を意識し、伝わるよう説明しました。これまでに、ゆず学習、笠置峡カヌー体験、花壇づくり、二十日会との交流、福祉体験、恵那特別支援学校との交流、稲作り、かかし作り、UACJ工場の見学、古墳・久須見城・猪狩山城・笠置橋など地域の歴史等々、本当にたくさんの学習を支えていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

ふるさと学習は子どもたちにとって、ふるさとのよさを知るとともに、よりよい地域を目指して努力している人々の思いを肌で感じることで、地域の一員としてふるさとを見つめる大事な時間です。そして、このつながりは、これからも脈々と受け継がれていくことと思います。

学習の一つとして、6年生は学んだことを新聞やポスター掲示で校内に発信しています。その中で、地域の皆さんにも発信しようとして久須見城・猪

狩山城についてまとめたリーフレットを作成しました。この学校報とともに配付しますので、ご覧いただければ幸いです。

総合の学習で、久須見城・猪狩山城について学びました。

ふるさとの歴史をたくさんの人に知ってもらいたくて、リーフレットを作りました。ぜひ読んでください。

[令和6年度 恵那北小学校 6年生]

